作成日：2025 年 3 月 27 日

研究協力のお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

アセトン血性嘔吐症とケトン性低血糖症における血清カルニチン値
１．研究の対象および研究対象期間 2020 年 3 月 1 日から 2025 年 2 月 28 日に昭和大学江東豊洲病院こどもセンターにアセトン血性嘔吐症とケトン性低血糖症で入院した患者さん
２．研究目的・方法 エネルギーを作るとき、主に糖分が利用されますが、足りない場合は脂肪を使いエネルギー産生を行うことがあります。脂肪を使ってエネルギーを作る過程をβ酸化と呼び、β酸化にはカルニチンという物質が必要です。β酸化では、エネルギーのほか、ケトン体という物質もできます。カルニチンが足りない状態では、β酸化ができないため、一般的には非ケトン性の低血糖症を起こすことがあります。 こどもはもともと糖分の蓄えが少ないため、1 食ご飯を抜いてしまうだけでエネルギー不足になり、β酸化を体内で行い、ケトン性の低血糖症を引き起こし、点滴で糖分を補給する必要があります。ケトン性の低血糖症では、カルニチンの量が足りていないのかどうか検証した研究はほとんどありません。今回、ケトン性の低血糖症やアセトン血性嘔吐症で入院したこどものカルニチン値がどのようになっているのか研究します。入院するときに採取した血液検査や医療情報を用いた研究です。
３．研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 4 月 30 日まで
４．研究に用いる試料・情報の種類 患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬）および臨床検査項目［血液、生化学（インスリン、遊離脂肪酸、ケトン体、カルニチンを含む）、血液ガス分析、尿所見）
５．外部への試料・情報の提供 「該当いたしません」
６．研究組織 研究代表者　　昭和大学江東豊洲病院こどもセンター　　氏名　阿部祥英

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：小児科　　氏名：山本和也
住所：東京都江東区豊洲 5-1-38　　電話番号：03-6204-6910